

歴史書 通信

5

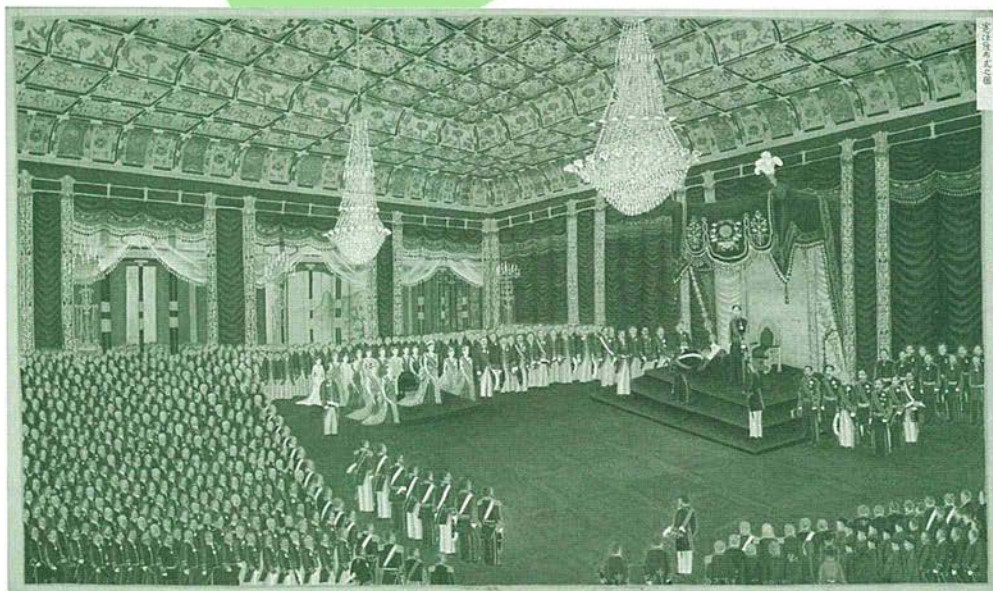
2019 No. 243

資料との出会い、学び、考える [野中和夫]

歴史書新刊ニュース (3・4月)

歴史書以外の人文社会図書新刊案内 (3・4月)

2019年歴史書ベストフェア出品/
参加書店一覧



歴史書懇話会

資料との出会い、学び、考える

野中 和夫

(日本大学講師)

資料との出会いは、まったくの偶然から発生する場合がある。それが未公表で膨大かつ重要性（資料的価値）が高いと、興味津々の反面、戸惑いと不安が過ぎることも事実である。

私の場合、宮内庁書陵部宮内公文書館所蔵の明治宮殿造営関係資料がこれにあたる。公式記録である『皇居御造営誌』と工事の工程を詳細に綴った『皇居造営録』で930件、これに明治憲法発布式図や古写真など関連する資料を含めると優に千件を超える。

これら資料を閲覧する契機となったのは、『石垣が語る江戸城』（編著、同成社、2007年）の編集にある。本丸西側の蓮池濠に面する高石垣のうち、北面がまるで碁盤上に並べられた基石のごとく、二種類の石材で修築されていることが気になったからである。石垣を見渡しても修築を示す文字（金石文）はない。幕府の復旧記録にも載らない。そこで、要因を関東大震災と考えてみたわけである。平成22年、宮内公文書館設立と同時に資料にあたったところ、仮説は見事に外れ、元禄大地

震の復旧であろうという結論に達している（拙著『江戸・東京の大地震』同成社、2013年）。経過はともかく、資料を検討する中で史実の方向性を見出すことは、研究者冥利に尽きるものがある。

これを調べる中で、明治宮殿造営関係資料と出会ったのである。

明治宮殿は、徳川政権下の元治度西丸御殿を仮宮殿として使用していたが、明治6年（1873）5月の火災で全焼する。その後、明治16年7月17日の太政官布達を経て同21年10月27日竣工する。表宮殿を西丸、奥宮殿を山里、賢所・神嘉殿を吹上とし、和風様式の建造物とする。竣工の翌年2月11日、表宮殿の正殿で明治憲法発布式が執行された。最も重要な式典であったが、写真撮影は行われなかった。そこで式部職は、とこなみまさきはる床次正精に依頼し、この様子を忠実に再現した水彩画を制作する（表紙写真）。今日、この複製画は、国立公文書館でいつでも見ることができる。

しかし、一般的に明治宮殿に関す

る馴染みは薄い。それは、昭和20年(1945)5月25日、桜田濠治の参謀本部が爆撃され、類焼によって灰燼に帰したことで、明治宮殿造営に関する資料の公開が宮内公文書館設立以前は一部研究者に限られていたことにほかならない。現代の皇居正殿は、昭和43年10月に竣工し、翌年4月から使用されている。そこは、明治宮殿表宮殿の位置とおおむね重なる。

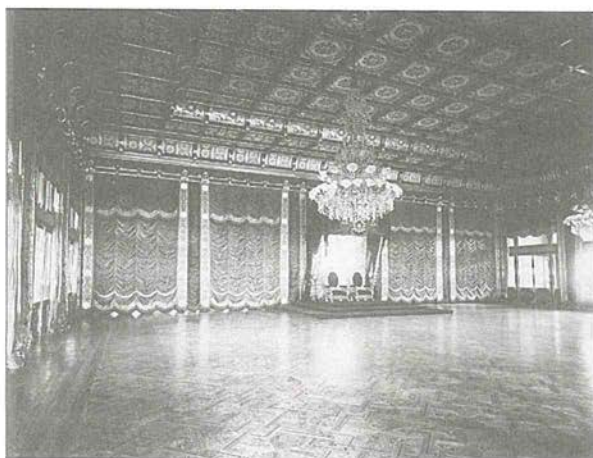
皇太子(大正天皇)の東宮御所として明治42年に建てられた赤坂迎賓館は、今日、公開され見学した人が少ない。片山東熊が設計したネオ・バロック様式の建物は、華美で訪れた人々を圧倒する。

他方、明治宮殿は、前述した憲法発布式図を除くと、東京藝術大学美術館が所蔵する柴田是真親子が描いた表宮殿千種之間の天井画下絵、東京国立博

物館と三の丸尚蔵館が所蔵する戦禍を逃れるため持出された奥宮殿の杉戸絵くらいであろうか。いずれも公開される機会が少なく、しかも宮殿内の一部装飾資料であることから、全体像が浮かんでこない。

明治宮殿と赤坂迎賓館は、明治期を代表する和洋建造物であるにもかかわらず目視による比較が叶わないのである。

さて、上記のような理由から「謎の宮殿」とも言われてきた明治宮殿について、ここで少し紹介しよう。明治宮殿は、二つの空間に大別することができる。公的な機能・性格をもつ表宮殿。天皇や皇后の日常的な生活空間である奥宮殿。「表」と「奥」の二つの空間から構成されている。さきに建物の外観が和風様式であると述べたが、内部の景観はまったく異なる。表宮殿が洋



〈明治宮殿正殿内部のようす〉

装であるのに対して、奥宮殿は和装である。装飾全体の指揮をとったのが、旗本出で帝室博物館長となる山高信離やまたかのぶつらである。

二つの宮殿の各間の配置、広さ、天井の形式と高さ、壁張をはじめとする室内装飾等々に変化をつけ、同時に格式を表現する。京都御所や江戸城御殿の襖絵などの下絵を取寄せ、東大寺・法隆寺・巖島神社などからも古紋を蒐集する。その上で、杉戸絵や襖絵などは当代の絵師から選抜し、金具・鏡縁・暖炉前飾などは名立たる工芸家、緞帳やレースなどの織物は西陣・桐生等々から調達する。さらに、紋様などは指示し、絵画の場合にはテーマを設定し、下絵の提出を求め吟味する。色を取上げて金・銀・真赤・紺・青・緑など多彩で、それらは各間の格に応じている。さらに、重要な空間の紋様には、鳳凰を配置する。

国産品だけではない。大型鏡や高級家具、シャンデリアなどは西欧から買付ける。

宮殿内は、一流品が並び、まるで美術館のようでもある。見事の一言に尽きる。

明治宮殿造営は、近代化を推進する明治政府が威信をかけた一大事業であったことはまちがいない。

『明治がつくった東京』（編著、同成社、2019年）でも述べたが、東京のインフラ整備をする上で皇居造営が手本

となっている。常盤橋を好例として、江戸時代の木橋は石橋に架け替えられる。大手石橋の親柱にアカンサスヒ獅子のレリーフを加えることで装飾性を高め、その後の日本橋架け替えの参考になる。ドイツから輸入された鉄橋も最新式のもので鏡面の龍のレリーフも象徴的で威厳がある。

水質汚染が進む中で、皇居内に浄水を引くため吹上内に沈澄池と濾池を設置。石樋・木樋から鉄管への交換。水道事業は、東京府内における淀橋浄水場の設置、鉄管への切り替えに拍車がかかる。

電気の導入もある。従来のランプや瓦斯燈に頼っていた明かりは、宮殿内の各間や街灯に電気が灯り、漏電の心配がなくなると、またたく間に電気が変わる。

浄化された水道水や電気の明かりは、今日の生活では当然のことであるが、その先駆けとなったのが明治宮殿造営だったのである。

資料から得られる新知見は多い。一方では、考えさせられることも少なくない。二つの事例を紹介する。

一つは、「官」から「民」への変化である。明治政府は、国力増強策として殖産興業の推進をはかる。官営工場の設立もある。明治宮殿造営では、大量のセメントや煉化石れんがせきを使用する。セメントは、当初、官営工場の深川工作場に大量注文する。しかし、本格的

な造営工事が始まる明治18年を境として、受注が浅野工場（浅野セメント）や外国製品へと移行するのである。最大の要因は、民間企業の台頭もあるがコストの削減である。煉化石は、東京集治監（現在の小菅刑務所）から愛知県の東洋組、さらには東京近郊の生産者へと代わる。

もう一つは、徹底したコスト削減のための入札制度である。明治宮殿造営では、250万円（1円が現在の2～25万円に相当）の予算に対して、決算書では約453万円に膨らむ。およそ1.8倍である。手を拱いていたわけではない。木材や石材など可能な限り官有林のものを使い、原材料費を抑える。石材の場合、旧江戸城内と幕府石置場の石は、原石代が無料で運搬費のみの負担ですむ。この石は、全体の総数のおよそ四分の一を占めている。さらに、入札制度は、土木工事・製品製作とも実にきめ細かい。明治宮殿には、大量の銅製品が使用される。銅は秋田県阿

仁銅山産の丁銅を使用し、製品に至るまでには銅板延立、形状の製作、鍍金という工程を経る。各工程での入札となるのである。今日の元請け制度とは大分異なる。どちらが安く仕上がるかは別であるが。

資料には、多くの情報が含まれている。私は、本年4月、同成社から『皇居明治宮殿の室内装飾』を上梓する機会を得たが、執筆したのは、この膨大な資料が明治を理解するには不可欠と考えたからである。明治維新150年を経過し、5月1日には「平成」に終わりを告げ、新天皇のもと新元号の「令和」へと代わる。この節目に重要資料の概要を伝える機会が与えられたことに感謝している。

〈表紙〉『憲法発布式図』、〈写真〉正殿内部（いずれも宮内庁書陵部宮内公文書館所蔵）

新刊ニュース

3・4月の新刊 *発売予定のものもあります

歴史一般 事典／年表・地図／歴史学・補助学

トニー・ジャット著/ジェニファー・ホーマンズ編/河野真太郎・西亮太・星野真志・田尻歩訳

真実が揺らぐ時

ベルリンの壁崩壊から9.11まで

四六判 584頁 5,500円 慶應義塾大学出版会 [4月刊]

1989年の革命、9.11の犠牲、イラク戦争、深まる中東の危機、アメリカ共和国の没落——。飽くことなく真実を追究した知識人、トニー・ジャットの魂の軌跡。 978-4-7664-2454-6

白井哲哉著

災害アーカイブ

資料の救出から地域への還元まで

A5判 236頁 3,200円 東京堂出版 [3月刊]

自然災害が頻発している時代において、歴史的史料をどのように守り、どのように保存してくべきなのか。

978-4-490-21004-0

小林秀司・星野卓二・徳澤啓一編

新博物館園論

A5判 330頁 3,000円 同成社 [3月刊]

自然史博物館、動植物園など自然系館園や歴史博物館の学芸員になる為の指南書。現状と課題、必要な知識と視座について丁寧に論じる。

978-4-88621-817-9

考古学 概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

大庭康時著

博多の考古学

中世の貿易都市を掘る

A5判 270頁 5,500円 高志書院 [3月刊]

本書では40年近く遺跡の発掘に携わってきた著者の長年にわたる知見を収めて、貿易都市博多の実態に迫る。

978-4-86215-191-9

南 健太郎著

東アジアの銅鏡と弥生社会

A5判 288頁 6,500円 同成社 [4月刊]

大陸の銅鏡は朝鮮半島を経ていかに日本に拡散し受容されたのか。日中韓の銅鏡観察を元にその様相を解明し、弥生社会像を再検証する。

978-4-88621-819-3

榎宜田佳男著

農耕文化の形成と近畿弥生社会

B5判 368頁 11,000円 同成社 [4月刊]

列島内の石器から鉄器への移行、墳墓祭祀と銅鐸祭祀の関わり、集落の地域性など、多面的な考察から近畿の弥生文化の特質を描き出す。

978-4-88621-822-3

小林青樹著

弥生文化の起源と東アジア金属器文化

B5判 342頁 11,000円 塙書房 [3月刊]

遼寧青銅器文化、中国外郭圏の銅戈、燕国系初期鉄器などの青銅器や鉄器をめぐる問題に着目し、弥生文化の起源を東アジア全体のなかで考察。

978-4-8273-1305-5

西江清高著

西周王朝の形成と関中平原

A5判 576頁 13,000円 同成社 [3月刊]

西周王朝以前の関中平原に存在した文化の諸系統を土器の編年研究から抽出し、地理考古学的な分析を用いて西周王朝成立の実態に迫る。

978-4-88621-820-9

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

国立歴史民俗博物館編

わくわく!探検 れきはく日本の歴史 1

先史・古代

B 5判 86頁 1,000円

吉川弘文館 [3月刊]

小中学生から大人まで楽しく学べるシリーズ。リニューアルした先史・古代の展示をもとにしたストーリー性重視の構成。全5巻完結。

978-4-642-06821-5

平川 南著

地域に生きる人びと

甲斐国と古代国家(新しい古代史へ1)

A 5判 250頁 2,500円

吉川弘文館 [4月刊]

古代の国家と地域の社会はいかなる関係にあったのか。甲斐国を舞台に全国各地の事例も含め、地域から古代を考える新しい試み。

978-4-642-06842-0

春名宏昭・高橋典幸・村和明・西川誠著

皇位継承

歴史をふりかえり変化を見定める

四六判 130頁 1,200円

山川出版社 [4月刊]

古代から連綿と続いてきた皇位継承のあり方は不変のものではなく、政治や社会の影響を受け、さまざまな形で伝えられてきた。その歴史をふりかえる。

978-4-634-59118-9

田島 公編

陽明文庫 近衛家伝来の至宝

設立80周年記念特別研究会 記念図録

A 4判 40頁 1,500円

吉川弘文館 [4月刊]

平安以来の古典籍・古文書を所蔵し、多くの国宝・重要文化財を誇る陽明文庫。歴史と名品を最新研究に基づいて紹介した記念図録。

978-4-642-08358-4

風説書研究会編

オランダ別段風説書集成

A 5判 728頁 15,000円

吉川弘文館 [3月刊]

アヘン戦争を契機に、江戸幕府は「別段風説書」の呈上をオランダに要請した。対外政策や政治判断の材料となった史料の全貌に迫る。

978-4-642-01583-7

古田武彦著

邪馬一国の証明

(古田武彦・古代史コレクション 26)

四六判 328頁 3,500円

ミネルヴァ書房 [4月刊]

定説・公理に素朴な疑問を持ち、創見に満ちた史料を再検討した古田武彦。ここに新たな観点から検討を加える。

978-4623-08586-6

熊谷公男編

古代東北の地域像と城柵

A 5判 340頁 7,500円

高志書院 [3月刊]

古代国家の東北政策や城柵の歴史的評価を東北の目線で捉え直し、新たな地平を切り拓く全編書き下ろし論文集。

978-4-86215-190-2

倉本一宏編

現代語訳 小右記 8

撰政頼通

四六判 344頁 3,000円

吉川弘文館 [4月刊]

道長は摂政を頼通に譲り「大殿」として君臨。三条院が崩御すると致良親王を新東宮に立てる。道長の榮華に実資の批判的な記述が続く。

978-4-642-01823-4

古市 見著

国家形成期の王宮と地域社会

記紀・風土記の再解釈

A 5判 552頁 16,000円

塙書房 [3月刊]

五・六世紀の王宮の基礎的検討から王権の編成原理と支配構造を、さらに瀬戸内海沿岸地域を検討して王権による地域社会の統合過程を考察。

978-4-8273-1304-8

五味文彦編

国宝一遍聖絵の全貌

A 5判 250頁 2,500円

高志書院 [4月刊]

山あり、河あり、海ありと続く苦難の遊行の旅を、淡々と、時に熱狂を交えて描く国宝『一遍聖絵』の全貌を明らかにする。口絵カラー4頁

978-4-86215-192-6

松尾剛次著

鎌倉新仏教論と叡尊教団

A 5判 552頁 12,000円

法藏館 [3月刊]

978-4-8318-6066-8

叡尊教団の畿内・北陸・関東・中四国への展開を解明。また、鎌倉極楽寺流関連の論考など、卒論以来約半世紀にわたる研究の集大成！

佐藤聖重編

中世石工の考古学

A 5判 270頁 6,000円

高志書院 [4月刊]

978-4-86215-193-3

本書では中世の石工たちが培った採石・加工技術の歴史を、考古学的手法である技術論から解き明かし、石造物研究の新たな視座と方法論の提示をめざす。

佐伯智広著

皇位継承の中世史

血統をめぐる政治と内乱（歴史文化ライブラリー 483）

四六判 224頁 1,700円

吉川弘文館 [4月刊]

978-4-642-05883-4

皇位の父子継承は、いつからどのように行われたか。天皇親政から院政、南北朝内乱まで、天皇と権力・親族との関係を軸にとらえ描く。

小笠原春香著

戦国大名武田氏の外交と戦争

（戦国史研究叢書 17）

A 5判 370頁 7,900円

岩田書院 [4月刊]

978-4-86602-068-6

信虎期・信玄期・勝頼期に分けて考察し、織田信長をはじめとする各大名との関係を整理し、併せて、各地の国衆の影響も検討する。

本多隆成著

徳川家康と武田氏

信玄・勝頼との十四年戦争（歴史文化ライブラリー 482）

四六判 256頁 1,800円

吉川弘文館 [3月刊]

978-4-642-05882-7

今川領国への侵攻から武田氏滅亡まで、新説をふまえて描く。信長との関係、松平信康事件などにも注目。苦難を乗り越えた家康の前半生。

大西泰正著

前田利家・利長

創られた「加賀百万石」伝説（中世から近世へ）

四六判 320頁 1,800円

平凡社 [4月刊]

遺言状にまつわる利家伝説の数々、一向一揆との本当の関係、利家・利長親子による特殊な二重支配などを探ることで、前田家の実像を解明しつつ、加賀百万石誕生の秘密に迫る。978-4-582-47745-0

渡邊大門著

山陰・山陽の戦国史

毛利・宇喜多氏の台頭と銀山の争奪

四六判 380頁 3,200円

ミネルヴァ書房 [4月刊]

978-4623-08494-4

大名の興亡と合戦史だけでなく、対外関係や鉱工業、芸能、経済、流通、城下町へも幅広く目盛りし、戦国時代の生活の実像を描出。

小宮木代良編

近世前期の公儀軍役負担と大名家

佐賀藩多久家文書を読みなおす（岩田書院ブックレット 歴史考古学系 H27）

A 5判 142頁 1,600円

岩田書院 [3月刊]

978-4-86602-066-2

2回のシンポジウムの成果を刊行。鍋島氏の重臣として活躍した多久家の文書をていねいに読み解き、年次比定にも修正を加える。

日本カメラ博物館監修

秘蔵古写真集「幕末」（仮称）

菊 5判 272頁予定 1,800円

山川出版社 [4月刊]

978-4-634-15147-5

日本カメラ博物館所蔵の未公開写真を多く含む作品。『幕末』『江戸』『風景』の三部作の第一作で、本作は人物を中心に構成されている。

伊藤一美・木下栄三・野中和夫編

明治がつくった東京

（近現代史叢書 14）

四六判 218頁 2,300円

同成社 [3月刊]

978-4-88621-818-6

近代国家へと大転換を遂げた明治。新生日本の首都はいかなる軌跡をたどって生まれ変わったのか？ 文明開化を象徴した東京の姿を詳述する。

野中和夫著

皇居明治宮殿の室内装飾

A 4判 264頁 25,000円

同成社 [4月刊]

978-4-88621-821-6

明治21年に建てられ昭和20年戦火で焼失した皇居の明治宮殿。華麗な室内装飾に色どられたその姿を残された資料により復元を試みる。

岩田真美・中西直樹編著

仏教婦人雑誌の創刊

(シリーズ 近代日本の仏教ジャーナリズム第二巻)

A 5判 342頁 6,000円

法蔵館 [2月刊]

19世紀後半刊行の仏教婦人雑誌の解説論文、総目次と入手困難な資料3点を復刻。メディアの視点から近代仏教と女性の問題に迫る。

978-4-8318-5572-5

添谷芳秀著

入門講義 戦後日本外交史

A 5判 332頁 2,400円

慶應義塾大学出版会 [3月刊]

占領期から現在までの日本外交を、変動する国際政治のなかで読みとき、将来への視界を切りひらく、日本外交史入門の決定版。

978-4-7664-2583-3

地方史研究協議会編

学校資料の未来

地域資料としての保存と活用

A 5判 206頁 2,800円

岩田書院 [5月刊]

学校に所在するさまざまな資料(学校資料)は地域の歴史を物語る地域資料でもある。その保存・活用のあり方を考え、未来を展望する。

978-4-86602-069-3

清水寺史編集委員会編

清水寺 成就院日記 第四巻

A 5判 408頁 9,000円

法蔵館 [3月刊]

清水寺門前の行政を記録した江戸の公用日記170年分のシリーズ第四巻。今巻は元文六年(1741)から延享四年(1747)までを収録。

978-4-8318-5154-3

相国寺史編集委員会編、原田正俊・伊藤真昭監修

相国寺史 第一巻 史料編中世一

A 5判 950頁 9,000円

法蔵館 [3月刊]

室町期の政治・文化に多大な影響力を誇った相国寺の歴史を通観!第一巻は、建治元年(1275)～文正元年(1466)までを収録。

978-4-8318-5251-9

中村明蔵著

隼人の古代史

(読みなおす日本史)

四六判 248頁 2,200円

吉川弘文館 [3月刊]

南九州で独自の生業・文化を持って暮らしていた隼人(ハヤト)。蛮族とされた彼らを朝廷は懐柔し、能力を生かして奉仕させた。その実像を解明。

978-4-642-07103-1

世界史

概論・通史/アジア/ヨーロッパ/アフリカ/アメリカ/オセアニア

八木春生著

中国仏教美術の展開

唐代前期を中心に

B 5判 520頁 20,000円

法蔵館 [2月刊]

敦煌莫高窟、龍門石窟、さらに中国各地の仏教美術の整理・編年を行い、初唐期・盛唐期の仏教美術の違いを解明。図版500点。

978-4-8318-7719-2

鈴木恒之著

スカルノ

インドネシアの民族形成と国家建設 (世界史リブレット人 92)

A 5変型 116頁 800円

山川出版社 [4月刊]

インドネシア共和国初代大統領スカルノ。インドネシアという民族の形成・統一・発展に捧げられたその生涯をたどり国家建設の過程を明らかにする。

978-4-634-35092-2

坪井祐司著

ラッフルズ (仮称)

海の東南アジア世界と「近代」(世界史リブレット人 68)

A 5変型 112頁予定 800円

山川出版社 [5月刊]

シンガポールの建設者・ラッフルズ。自由主義の理想に燃え、自由な交易空間を作ろうと試み、東南アジアの海の世界をどのように変えたのかを描く。

978-4-634-35068-7

伊藤 正著

ゲオーポニカ

古代ギリシアの農業事情

A 5判 320頁 5,000円

刀水書房 [4月刊]

鹿児島大学中央図書館所蔵の世界稀な農書。10世紀半ば東ローマで32名の農学者が編纂。古代ギリシア農業の社会経済史研究始まる。

978-4-88708-451-3

古澤拓郎著

ホモ・サピエンスの15万年

連続体の人類生態史

四六判 276頁 2,400円

ミネルヴァ書房 [4月刊]

科学で解説する人類の歴史——男女の性差、人種、文化・異なるものすべてを連続体（スペクトラム）で理解する。

978-4623-08444-9

藤山一樹著

イギリスの対独「宥和」—一九二四—一九三〇年

ヨーロッパ国際秩序の再編

A5判 304頁 5,400円

慶應義塾大学出版会 [4月刊]

ヴェルサイユ条約の修正を選んだ1920年代後半のイギリス外交を政策決定者の対外認識から再検討し、従来の「宥和＝失敗」説を問い直す。

978-4-7664-2595-6

正本 忍著

フランス絶対王政の統治構造再考

マレショーセに見る治安、裁判、官僚制

A5判 540頁 12,000円

刀水書房 [3月刊]

18世紀中ごろ、フランス絶対王政の臣民統治のための「治安機構」マレショーセを、あらゆる観点から在仏史料で徹底的に検証。世界初の大研究。

978-4-88708-447-6

エヴァ・ホフマン著／小原雅俊訳

シュテットル

ポーランド・ユダヤ人の世界

四六判 368頁 5,400円

みすず書房 [3月刊]

ポーランド人とユダヤ人は共存していたのに、なぜホロコーストは吹き荒れたか。小さな町（シュテットル）の歴史が欧州の基層を示す。

978-4-622-07792-3

益田 実編著

欧州統合史

二つの世界大戦からブレグジットまで

A5判 392頁 3,800円

ミネルヴァ書房 [4月刊]

戦後ヨーロッパはいかなる道を歩んだのか。「三つの統合史の流れ」と「三つの問題に至る流れ」の二つの視点を交錯しつつ描き出す。

978-4623-08491-3

高梨久美子著

駐英大使の見たヘンリ8世時代

神聖ローマ皇帝大使シャビュイの書簡を中心に

A5判 400頁 7,000円

刀水書房 [3月刊]

他国から眺めた時にヘンリ8世時代はどのように映ったのかを、神聖ローマ皇帝大使シャビュイの膨大な公文書から繕く。付録書簡史料が貴重。

978-4-88708-448-3

川田玲子著

メキシコにおける聖フェリーペ・デ・ヘスス崇拜の変遷史

神の沈黙をこえて

A5判 600頁 8,800円

明石書店 [3月刊]

長崎二十六聖人の一人、聖フェリーペ。生地メキシコにおける崇拜の慣習の成り立ちと意義、変遷を史料を基に丹念に描いた力作。

978-4-7503-4785-1

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教／
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

小倉孝誠著

逸脱の文化史

近代の(女らしさ)と(男らしさ)

四六判 244頁 2,400円

慶應義塾大学出版会 [4月刊]

独身、同性愛、フェティシズム、サド＝マゾヒズム……激動の近代、既存の枠組みに収まらない人々はどう生きたのか、当時の言説をつうじて読み解いていく。

978-4-7664-2592-5

上山春平著

天皇制のデザイン

四六判 306頁 2,700円

法蔵館 [3月刊]

藤原不比等の悪魔的政治力に着目し、天皇制形成をその制作者側から描き出す「埋もれた巨像」ほか表題作所収。御代替わりに必読の一書！

978-4-8318-5707-1

岡田莊司著

大嘗祭と古代の祭祀

四六判 376頁 2,800円

吉川弘文館 [3月刊]

「大嘗祭」の本義とは。「平成大嘗祭論争」の中心学説『大嘗の祭り』を再録し、その後の研究成果を集成。新たな大嘗祭論を提示する。

978-4-642-08350-8

狩野直禎監修、杉村邦彦・寺尾敏江編

狩野君山の阿藤伯海あて尺牘集

A 5判 382頁 7,500円

法蔵館 [2月刊]

978-4-8318-7721-5

中国学を牽引した君山狩野直喜が岡山の漢詩人阿藤伯海にあてた175通の未公開書簡を、直孫狩野直禎氏の注を付して翻刻紹介。

谷口義介著

明恵と龍になった女

四六判 192頁 1,500円

法蔵館 [3月刊]

978-4-8318-5649-4

鎌倉時代の名僧、明恵は女神像・善妙神を作った。その善妙神のルーツを求め韓国・中国を訪ね、善妙化龍説話の背景を探る。

橋本循記念会編

楚辞・雑纂

(橋本循著作集 第四巻)

A 5判 400頁 5,000円

法蔵館 [3月刊]

978-4-8318-3734-9

『訳註楚辞』『蘆北山人詩草』、生前未収録の随想や追悼文、白川静による評伝「蘆北先生遺事」、業績・年譜などを収録。

公益財団法人 文化財建造物保存技術協会監修

文化財建造物の保存修理を考える

木造建築の理念とあり方

A 5判 296頁 5,000円

山川出版社 [4月刊]

978-4-634-52026-4

木造建築は適切な修理が継承されることで今日まで保存されてきた。国内外の建造物保存修理の歴史や事例、理念やあり方について検証したシンポジウムの記録集。

石垣 悟編

酒と調味料、保存食

(日本の食文化5)

四六判 248頁 2,700円

吉川弘文館 [4月刊]

978-4-642-06840-6

発酵を利用した味噌、塩蔵による漬物、ダシの素材の昆布など、食料保存技術は独特の味をも生み出した。日本の味の文化的背景を探る。

菊池勇夫著

飢えと食の日本史

(読みなおす日本史)

四六判 192頁 2,200円

吉川弘文館 [4月刊]

978-4-642-07104-8

飢饉発生の経緯やメカニズムを探り、民衆の生き残りをかけた行動を描き出す。食料を輸入に依存する現代日本に警鐘を鳴らす。

脇田道子著

モンパ

インド・ブータン国境の民

A 5判 604頁 6,000円

法蔵館 [3月刊]

978-4-8318-6240-2

インド北東部の国境に暮らす少数民族モンパの世界。衣装・伝統文化・言語・自治要求・観光など彩り鮮やかに描き出す快作！

伝記

岡田清一著

北条義時

これ運命の縮まるべき端か (ミネルヴァ日本評伝選)

四六判 304頁 3,000円

ミネルヴァ書房 [4月刊]

978-4623-08604-7

時代により評価が揺らぐ、鎌倉幕府第二代執権・北条義時。悩み葛藤したひとりの武士としての実像に迫る。

光成準治著

小早川隆景・秀秋

消え候わんとて、光増すと申す (ミネルヴァ日本評伝選)

四六判 370頁 3,500円

ミネルヴァ書房 [3月刊]

978-4623-08597-2

疾風の如く変転した小早川家… 天下を左右した父子、その実像。

雑誌

日本歴史

日本歴史学会編集

4月号 (第851) = 3月刊
5月号 (第852) = 4月刊

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料 8,300 円 [税・送料込]

◆各種割引制度有

二年間前払い 16,000 円 [税・送料込]

三年間前払い 23,500 円 [税・送料込]

学生・院生 一年間 5,000 円 [税・送料込]

A5判 4月号 = 130頁、5月号 = 130頁
4月号 = 741円、5月号 = 741円

吉川弘文館 [3・4月刊]

戦国史研究会編集

戦国史研究 第77号

A5判 48頁 649円

吉川弘文館 [4月刊]

論文(執筆)…岩本潤一/魚屋翔平/磯川いづみ/
日向志保/大藪海/黒田基樹/研究ノート(執筆)
…浅倉直美/羅針盤(執筆)…中村亮佑

978-4-642-09245-6

歴史の転換期 ⑩

1905年

革命のうねりと連帯の夢

小松久男編 革命と動乱のさなかにあったユーラシア各地で人々は連帯の声を上げる。それは時に共鳴を呼び、時に激しい衝突を招いた。それぞれの地域で活躍した人物に焦点を当て、時代のはらむ緊張を描く。

四六判 288頁 本体3500円



皇位継承

歴史をふりかえり
変化を見定める

春名宏昭
高橋典幸
村和明
西川誠 著

天皇は古代から連綿と続いてきたが、皇位継承のあり方は一定不変のものではない。政治や社会の影響を受け、さまざまな形で伝えられてきた皇位継承の歴史をふりかえり、天皇や天皇制を考える。

四六判 128+口絵2頁 本体1200円



文化財建造物の
保存修理を考える

木造建築の理念とあり方

公益財団法人
文化財建造物保存技術協会 監修・編集
国内外の建造物保存修理の歴史や事例、
理念、あり方について、技術者・行政担当者・
研究者が検証したシンポジウムの記録集。



A5判
208+口絵8頁
本体5000円

世界歴史大系

新刊

南アジア史 4

近代・現代

長崎暢子編

19世紀半ば以降イギリスの植民地となったインド、戦間期に展開された独立運動と経済・社会の変化、2度にわたる分離独立を経験したインドとパキスタン・バングラデシュの国家建設。多様な民族と宗教が交錯する近現代の南アジアを「民主主義」をキーワードに概観する。

A5判 632頁
本体8000円

好評既刊

南アジア史 1

先史・古代

山崎元一・小西正捷編
A5判 464頁 本体5800円

南アジア史 2

中世・近世

小谷汪之編
A5判 536頁 本体6000円

南アジア史 3

南インド

辛島昇編
A5判 484頁 本体5800円

文学で読む
日本の歴史

近世社会篇

内乱や飢饉が続く不安定な社会情勢のなか、人びとはどう動いたか。二代將軍・秀忠から吉宗までの政権は課題にどう対処したか。日本近世史の細分化された領域を「思潮」の流れによって再考し、一つの全体史として捉え直す。

四六判 352頁 本体1800円

五味文彦 著

●各四六判
古典文学篇
376頁 本体1800円

中世社会篇
520頁 本体2000円

戦国社会篇
480頁 本体2000円



山川出版社

東京都千代田区内神田 1-13-13

電話 03-3293-8131 <https://www.yamakawa.co.jp/>

[価格は税別]

歴史書懇話会とは

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内

1968年6月に歴史書を刊行する有志出版社7社で結成され、現在9社が加盟しています。結成以来50年、「すぐれた歴史書の普及とその販売を積極的に推進する。本会はその目的達成のため、会員相互の協力によって必要な研究ならびに事業を行う。」(会規約)の精神に基づき活動しています。

〈歴史書懇話会〉の主な事業

◆「歴史書通信」(隔月刊)最新の歴史書情報を提供しています!

会員各社の新刊・重版情報、誌上フェア、書店情報を掲載する出版情報誌。歴史関連のエッセイなども掲載し、歴史知識の普及をはかっています。ご購入を希望される方は最寄の書店を通して、事務局までお申込み下さい。

◆「歴史書ベストフェア」小規模書店にも本格派の歴史書を!

全国約90書店で会員社の歴史書40冊余を1年間展示販売しています。選択セットを加え、最大規模は120冊のセットとなります。出品リスト及び販売店一覧は「歴史書通信」5月号に掲載します。

◆「歴懇リバイバル」復刊書フェアとしてご好評いただいています。

統一復刊・重版事業「歴懇リバイバル」を実施しています。
一社では困難な専門書の復刊・重版を共同で行う活動です。読者から要望の多い名著や基本図書を復刊し、毎回100店近い書店・大学生協で店頭フェアを展開しています。

◆「ホームページ」&「メール通信」による情報発信

当会のホームページでは、新聞書評情報、歴史書の検索、書店フェアや各社の新刊案内、歴史書懇話会からメール通信を配信するメールアドレス登録の受付、「歴史書通信」PDF版などを掲載しています。

メール配信のお申込みは<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>からお願いします。

歴史書懇話会 会員社

明石書店・東京堂出版・刀水書房・同成社・堦書房
法蔵館・ミネルヴァ書房・山川出版社・吉川弘文館

歴史書懇話会ホームページ

<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>

歴史書懇話会会員社ホームページ

| | |
|---------|---|
| 明石書店 | http://www.akashi.co.jp/ |
| 東京堂出版 | http://www.tokyodoshuppan.com/ |
| 刀水書房 | http://www.tousuishobou.com/ |
| 同成社 | http://www.douseisha.co.jp/ |
| 塙書房 | http://rr2.hanawashobo.co.jp/ |
| 法藏館 | http://www.hozokan.co.jp/ |
| ミネルヴァ書房 | http://www.minervashobo.co.jp/ |
| 山川出版社 | https://www.yamakawa.co.jp/ |
| 吉川弘文館 | http://www.yoshikawa-k.co.jp/ |

◆いよいよ4月 桜前線は東北に入りました！

私たち歴史書懇話会は月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ」の連続ミニフェアを開催しております。現在は次の5書店で開催しています（かつこ内はフェア開始の日付）。◇天童市 TENDO 八文字屋（2006年7月～）／◇新潟紀伊國屋書店新潟店（2007年8月～）◇松江市今井書店グループセンター店（2008年6月～）／◇大阪市喜久屋書店阿倍野店（2013年11月～）／◇出雲市今井書店出雲店（2014年7月～）。お近くの方、どうぞお寄り頂き私たちのオススメを覗いてみて下さい。

.....

■2019年2月9日、大濱徹也先生が81歳で急死なさいました。ご存じの方も多し事と思います。◆私たち歴史書懇話会と先生とのお付き合いのきっかけは、30年前でした。昭和63（1988）年、ちょうど歴史は20周年記念で『歴史書懇話会二十年の歩み』を発行、その巻頭を飾ったのが「歴史学の20年」大濱徹也先生と樺山紘一先生の対談でした。お二人は戦後20年の歴史学、そして歴史が始まってから20年の歴史学を、世界と日本さらには各地域の歴史を見る眼のありようを、融通無碍に語り合い、歴史にはこの後100年頑張ってもらいましょう！と結ばれました。◆続けて新装版『歴史書通信』64号（1989年4月）は、網野善彦・大濱徹也・樺山紘一の三先生特別座談会「日本史の文明的再検討」で始まります。14世紀について「日本文明の転換点」という議論をなさっていた網野先生も加わって、日本史の捉え方に、かつての時代区分論では見えなかった壮大なお話が語られました。◆大濱先生の歴史学をご存じない方々もお出でかと思しますので、少し詳しくお伝えしましょう。『ある歴史学との出会い—大濱徹也先生喜寿記念誌』（2014年12月8日刊）は先生のお誕生日にお弟子さんたちの総力を挙げて完成した記念論集ですが、この後半は先生の歴史エッセイ「私の歴史学—生きてきたひとつの証」です。幼い頃からの読書遍歴で始まる先生の歴史学のありようが語られていて、何度でも読み返したくなります。◆その一節です。「歴史を想い描くという営みは、「時間と云ふ大なる国に旅行する」旅人が眼にした世界を舞台として造形していく作業、時代人心をどのような登場人物に託して語り聞かせるかです。ここが歴史家の腕のみせどころといえましょう。見えざるものを読みとり、聞こえない声に耳をそばだて、想像力を働かせて一つの世界を創造する営みこそが歴史という舞台を生きたものとする歴史家の業だといえましょう。歴史家は、時代を造形して描いていくという宿命を負わされているわけで、舞台でいえば演出家、オーケストラの指揮者に相当するものではないでしょうか。この感覚が私の歴史学をささえてきた原点にあるようです。……昨今、目にするのですが、史料なるものを繋いでいけば歴史になるのではありません。史料と接続詞でしかないものが論文というのなら、歴史学は亡びましょう。歴史学は、現在生きている私のいる場を確かめ、想像し、創造していく世界です。このような思いにたどりつくには時間がかかりましたが」（296頁）。◆さらにはアーカイブズの確立を目指しながら最近の『歴史書通信』（2017年233号）に巻頭エッセイ「アーカイブズ—公文書館は何をめざそうとしているのか」を寄稿して下さいました。◆そして、終生の大作「日本キリスト教史」をまとめる寸前にお亡くなりになったのです。「合掌」

(FN)

歴史系学会・シンポジウム開催情報

第72回 美術史学会 全国大会

会期= 2019年5月17日～19日 会場=京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス
◆問合せ(大会事務局)info.taikai72@gmail.com ◆HP = 詳細あり

第69回 日本西洋史学会大会

会期= 2019年5月18日～19日 会場=静岡市民文化会館/静岡大学 静岡キャンパス
◆問合せ(大会準備委員会)seiyoshigakukai69shizuoka@gmail.com ◆HP = 詳細あり

日本考古学協会 第85回(2019年度)総会

会期= 2019年5月18日～19日 会場=駒澤大学 駒沢キャンパス
◆問合せ(総会実行委員会) 電話 03-3418-9287 ◆HP = 詳細あり

社会経済史学会 第88回(2019年度)全国大会

会期= 2019年5月18日～19日 会場=青山学院大学 青山キャンパス
◆問合せ(同会事務局) 電話 03-3200-4920 ◆HP = 詳細あり

2019年度 歴史学研究会 大会

全体会テーマ=排外主義の時代における歴史学の課題-「排除」と「共生」を問う-
会期= 2019年5月25日～26日 会場=立教大学 池袋キャンパス*
◆問合せ(同会事務局) 電話 03-3261-4985 ◆HP = 詳細あり

日本文化人類学会 第53回研究大会

会期= 2019年6月1日～2日 会場=東北大学 川内キャンパス
◆問合せ(実施委員会事務局)kenkyutikai53@gmail.com ◆HP = 詳細あり

2019年度 明治維新史学会 第49回大会

会期= 2019年6月8日～9日 会場=京都橘大学
◆問合せ=大会HP メールフォームより ◆HP = 詳細あり

古代交通研究会 第20回大会 大会テーマ=馬がつなぐ古代社会

会期= 2019年6月22日～23日 会場=早稲田大学 小野記念講堂
◆問合せ=研究会HP「ご連絡」より ◆HP = 詳細あり

第96回 経済史研究会

会期= 2019年6月29日(土) 会場=大阪経済大学
◆問合せ=日本経済史研究所 nikkeisi@osaka-ue.ac.jp ◆申込方法=メール ◆HP = 詳細あり

*印の会場では、歴史書懇話会による出張書籍販売がございます。

| | | | | | |
|-------|-----------------|-----|-------------------|-----|---------------------|
| 加西市 | 西村書店加西店 | 島根県 | | 愛媛県 | |
| 姫路市 | 大塚書店 | 出雲市 | 今井書店出雲店 | 松山市 | 新丸三書店本店 |
| 姫路市 | 黒田書店 | | | | |
| | 奈良県 | 岡山県 | | 高知県 | |
| 大和郡山市 | 喜久屋書店 大和郡山店 | 高梁市 | 開進堂書店高梁店 | 高知市 | 金高堂朝倉 ブックセンター |
| | | 総社市 | 荒木書店 | | |
| 奈良市 | 豊住書店 | 広島県 | | 大分県 | |
| 奈良市 | たつみ書店 サンタウン店 | 世羅郡 | ブックセンターアオイ 甲山店 | 大分市 | ジュンク堂書店 大分店 |
| 奈良市 | 啓林堂書店奈良店 | | | | |
| | 和歌山県 | 徳島県 | | 宮崎県 | |
| 橋本市 | ツモリ西部店 | 徳島市 | 井関書店 | 都城市 | 田中書店妻ヶ丘本店 |
| 田辺市 | 多屋孫書店 | 徳島市 | 小山助学館本店 | 都城市 | 田中書店イオンモ ール都城駅前店 |
| | | 三好郡 | 小山助学館三加茂店 | | |
| | 鳥取県 | 香川県 | | | |
| 米子市 | 杉島書店 | 高松市 | 宮脇書店本店 | | |
| | | 坂出市 | 宮脇書店坂出白金店 | | |

2019年歴史書ベストフェア 参加書店一覧

2019年4月1日

北海道

札幌市 文教堂札幌大通り駅店

秋田県

大館市 ブックスモア大館店

山形県

山形市 こまつ書店寿町本店

米沢市 こまつ書店堀川町店

福島県

会津若松市 西沢書店会津アピオ店

茨城県

水戸市 川又書店県庁店

群馬県

高崎市 戸田書店高崎店

館林市 聞声堂

前橋市 煥乎堂

栃木県

宇都宮市 喜久屋書店宇都宮店

足利市 岩下書店

埼玉県

さいたま市 板山明文堂

東京都

三鷹市 啓文堂書店三鷹店

世田谷区 文教堂経堂店

町田市 久美堂小田急店

神奈川県

茅ヶ崎市 長谷川書店
ネスパ茅ヶ崎店

横浜市 八重洲ブックセンター
京急百貨店上大岡店

富山県

高岡市 文苑堂書店福田本店

高岡市 喜久屋書店高岡店

富山市 文苑堂書店
富山豊田店

石川県

金沢市 金沢ビーンズ
明文堂書店

山梨県

甲府市 ジュンク堂書店
甲府店

長野県

東筑摩郡 興文堂iCITY店

松本市 興文堂平田店

諏訪市 誠林堂

安曇野市 平安堂あづみ野店

伊那市 平安堂伊那店

長野市 平安堂新長野店

飯田市 平安堂飯田店

岐阜県

岐阜市 カルコス本店

岐阜市 丸善岐阜店

瑞穂市 カルコス穂積店

大垣市 ACADEMIA大垣店

中津川市 矢野書店

静岡県

浜松市 安間書店

愛知県

小牧市 カルコス小牧店

名古屋市 らくだ書店本店

名古屋市 ザ・リブレット
イオンタウン千種店

名古屋市 泰文堂日比野本店

三重県

津市 青山書店

滋賀県

高島市 玉垣芳文堂

彦根市 太田書店

京都府

木津川市 宮脇書店ガーデンモール
木津川店

京都市 葵書房下鴨店

相楽郡 ACADEMIA
けいはんな店

大阪府

大阪市 喜久屋書店阿倍野店

大阪市 西坂書店

大阪市 ジュンク堂書店
天満橋店

兵庫県

加古川市 宮脇書店加古川店

法 藏 館

| | |
|-----------------------------|--------|
| 仏教史研究ハンドブック 仏教史学会編 | 2,800円 |
| 近代仏教スタディーズ 大谷栄一・吉永進一・近藤俊太郎編 | 2,300円 |

山川出版社

| | |
|--------------------------------|--------|
| 新もういちど読む 山川 日本史 五味文彦・鳥海靖編 | 1,600円 |
| 新もういちど読む 山川 世界史 「世界の歴史」編集委員会編 | 1,600円 |
| 文字と組織の世界史 新しい「比較文明史」のスケッチ 鈴木董著 | 2,000円 |
| 山川 日本史小辞典 改訂新版 日本史広辞典編集委員会編 | 3,000円 |
| 詳説世界史研究 木村靖二・岸本美緒・小松久男編 | 2,500円 |
| 詳説日本史研究 佐藤信・五味文彦・高埜利彦・鳥海靖編 | 2,500円 |

吉川弘文館

| | |
|--------------------------------------|--------|
| 日本史を学ぶための古文書・古記録訓読法 日本史史料研究会監修／菊米一志著 | 1,700円 |
| はじめての古文書教室 林 英夫監修 | 2,400円 |
| 戦国の城の一生 竹井英文著 | 1,700円 |
| 刀剣と格付け 深井雅海著 | 1,800円 |
| 龍馬暗殺 桐野作人著 | 1,800円 |
| 近代日本の思想をさぐる 中野目 徹編 | 2,400円 |

2019年[歴史書]ベストフェア

▶ 出品 / 参加書店一覧 ◀

歴史の深遠へと誘う水先案内人

明石書店

| | | |
|-----------------------|------------------|--------|
| イタリアの歴史を知るための50章 | 高橋進・村上義和 編著 | 2,000円 |
| スペインの歴史を知るための50章 | 立石博高・内村俊太 編著 | 2,000円 |
| アメリカの歴史を知るための63章【第3版】 | 富田虎男・鷗月裕典・佐藤藤 編著 | 2,000円 |
| ロシアの歴史を知るための50章 | 下斗米伸夫 編著 | 2,000円 |
| 中国の歴史を知るための60章 | 並木頼壽・杉山文彦 編著 | 2,000円 |

東京堂出版

| | | |
|---------------|-------|--------|
| くずし字解説辞典(普及版) | 児玉幸多編 | 2,200円 |
| くずし字用例辞典(普及版) | 児玉幸多編 | 5,800円 |
| 幕末維新史年表 | 大石 学編 | 3,000円 |

刀水書房

| | | |
|--------------------------|--------------------|--------|
| フランス革命「共和国」の誕生(刀水歴史全書96) | 山崎耕一著 | 3,000円 |
| スイスが問う日本の明日 | 近代の中に忘れてきたもの 花田吉隆著 | 2,200円 |

同成社

| | | |
|----------------|-------------------|--------|
| 「関ヶ原」を読む | 戦国武将の手紙 外岡慎一郎著 | 2,000円 |
| 改訂版 づらい真実 | 虚構の特攻隊神話 小沢郁郎著 | 1,700円 |
| 親子でまなぶ たのしい考古学 | 山岸良二:文/さかいひろこ:絵 | 1,700円 |
| 改訂版 講談日本通史 | 素顔の日本を問いかたる 大濱徹也著 | 2,700円 |
| 入門 歴史時代の考古学 | 近江俊秀著 | 2,200円 |

塙書房

| | | |
|--------------|----------------------|--------|
| かぐや姫と浦島 | 物語文学の誕生と神仙ワールド 渡辺秀夫著 | 2,800円 |
| 平家の群像 | 安田元久著 | 900円 |
| 平家物語の虚構と真実 上 | 上横手雅敬著 | 900円 |
| 平家物語の虚構と真実 下 | 上横手雅敬著 | 900円 |
| 稻荷信仰 | 近藤喜博著 | 950円 |

歴史書以外の 人文社会図書新刊案内

2019.3・4

明石書店

- 現代フランスにおける移民の子孫たち 都市・社会統合・アイデンティティの社会学
エマニュエル・サンテリ／園山大祐 監修……………四六判 2,200円 3月
- 世界のチャイナタウンの形成と変容 フィールドワークから華人社会を探究する
山下清海著……………A 5判 4,600円 3月
- 運命論を哲学する「現代哲学ラボ」シリーズ 第1巻 入不二基義・森岡正博著……………四六判 1,800円 4月

刀水書房

- 現代日本における自然葬の民族誌 金セツピョル著……………A5判 6,000円 3月

法蔵館

- 人間とは何かⅡ 日本仏教学会叢書 日本仏教学会編……………A 5判 6,600円 3月
- 蔵俊撰『仏性論文集』の研究 龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 7
楠 淳澄・船田淳一編……………A 5判 15,000円 3月
- 完全版 宗教なき時代を生きるために オウム事件と「生きる意味」 森岡正博著……………四六判 2,200円 3月
- 現代日本の仏教と女性 龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 8
那須英勝・本多彩・碧海寿広編……………四六判 2,200円 3月

文字は何を語るのか？ 今に生きつづける列島の古代文化

新しい古代史へ

4月刊行開始

平川 南著 A5判/各2500円

全3巻

■地域に生きる人びと 甲斐国と古代国家

地域社会の支配拠点だった国府、税の徴収などの地方行政、氏族と渡来人の活動の実態！古代の国家と地域の社会との関係にあったか。

- ① 続刊
- ② 文字文化のひろがり 東国・甲斐からよむ
- ③ 交通・情報となりわい 甲斐がつかないだ道と馬

482 徳川家康と武田氏

信玄、勝頼との十四年戦争



徳川家康と武田氏 家康 試練の時期

483 皇位継承の中世史

血統をめぐる政治と内乱

佐伯智広著 現在では常識の皇位の父子継承は、いつからどのように行われたのか。天皇親政から院政、鎌倉幕府滅亡、南北朝内乱まで、目まぐるしく展開した中世政治史を、天皇と権力・親族との関係を軸にとらえ、明快に描き出す。 1700円

歴史文化ライブラリー 四六判

現代語訳 小右記 ⑧ 摂政頼通 (第8回) 四六判 3000円

倉本一宏編 道長は摂政を長男の頼通に譲り、大殿として君臨。敦明親王は東宮の地位を降り、道長は彰子所生の敦良親王を新東宮に立てる。道長家の榮華に対し、実資の批判的な記述が続く。

ハヤト 隼人の古代史

四六判/2200円 中村明蔵著

古代南九州で独自の生業・文化を持ち暮らした隼人。敏捷性と呪能を期待され、吠声を発して大嘗祭にも奉仕した実像とは。

飢えと食の日本史

四六判/2200円 菊池勇夫著

なぜ多くの人々が死なねばならなかったのか。発生の経緯やメカニズムを探り、民衆の生き残りをかけた行動を描く。

読みなおす日本史

ミュージアム 博物館が本になった!



わくわく! 探検 日本史

全5巻 全巻完結

- ① 先史・古代 国立歴史民俗博物館編 各1000円
- ② 中世 日本の歴史と文化を楽しく、やさしく解説した小中学生向けのシリーズ。ジオラマや復元模型、さまざまな道具など、図版も満載。展示ガイドにも最適な、子どもから大人まで楽しめる「紙上博物館」!
- ③ 近世
- ④ 近代・現代
- ⑤ 民俗 A5判(内容案内送呈)

日本の食文化

全6巻 刊行中 各2700円(内容案内送呈)

⑤ 酒と調味料、保存食

発酵を利用した酒、酢・味噌・醤油、塩蔵や発酵による漬物、ダシの素材となる昆布などの乾物。これら食料保存の技術は独特の味をも生み出した。日本の味の文化的背景を探る。

石垣 悟編 (第3回) 四六判

吉川弘文館

〒113-0033・東京都文京区本郷7-2-8 電話 03-3813-9151(代表)

2018-2019年版『出版図書目録』送呈 FAX 03-3812-3544/価格は税別です

歴史書懇話会

▶会員社名簿◀

- 明石書店 101-0021 千代田区外神田 6-9-5 (担当者: 深谷直樹)
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1174
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町 1-17 (担当者: 力久尚之)
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田 2-4-1 (担当者: 中村文江)
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋 4-4-8 (担当者: 工藤龍平)
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷 6-8-16 (担当者: 関口守俊)
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 (担当者: 西村明高)
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 [本社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町 1
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589
[東京支社] 101-0062 千代田区神田駿河台 3-6-1 菱和ビルディング 2F
TEL.03-3525-8460 FAX.03-3525-8461 (担当者: 青柳英孝)
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田 1-13-13 (担当者: 田村 裕)
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷 7-2-8 (担当者: 春山晃宏)
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2019年5月1日発行・第243号

発行 **歴史書懇話会**

113-0033 文京区本郷 7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店